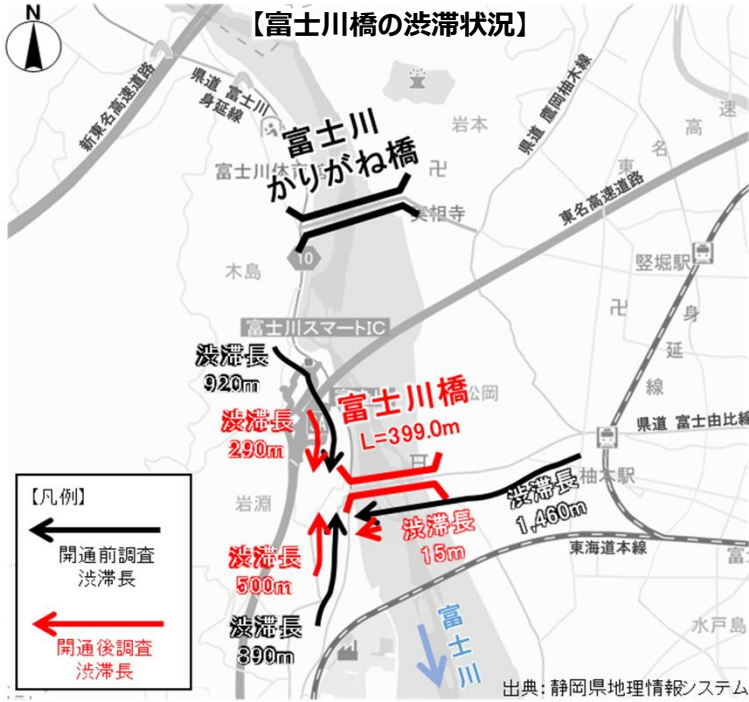


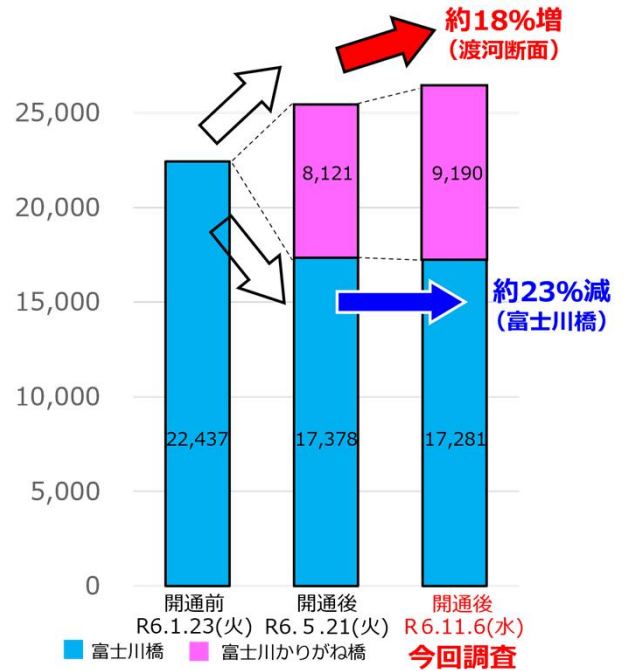
富士川かりがね橋開通後の交通状況について

●交通状況

- ・開通から約半年が経過し、**富士川橋の渋滞長の減少効果が継続**
- ・開通前と比べ、**富士川橋の交通量は約23%減少、富士川渡河断面の交通量は約18%増加**



【富士川渡河橋梁の交通量 (台/日)】

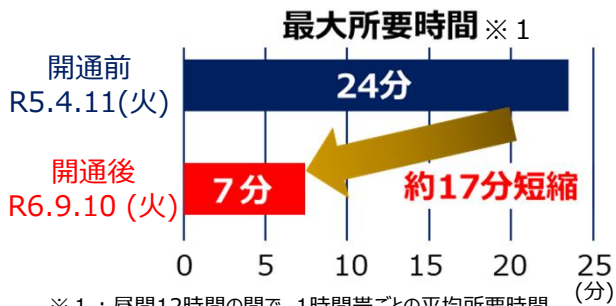


●所要時間・旅行速度

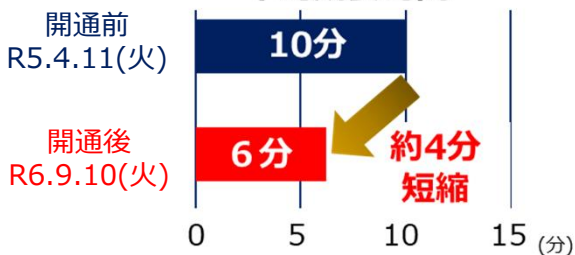
- ・富士本町交差点から富士川橋西交差点までの**所要時間が、開通前の最大24分から、開通後、約7分に短縮 (約17分減)**
- ・橋下交差点から富士川橋西交差点までの**旅行速度が開通前は、朝夕の旅行速度が20km/h未満であったが、開通後は、概ね30km/h以上に改善されている。**

※ETC2.0プローブデータ分析結果 (静岡国道事務所提供)

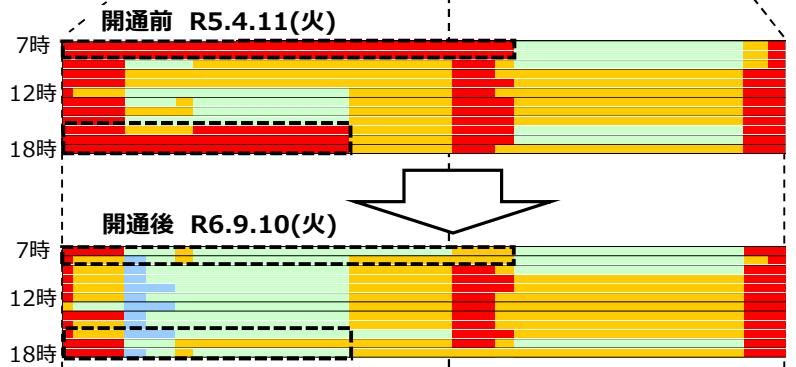
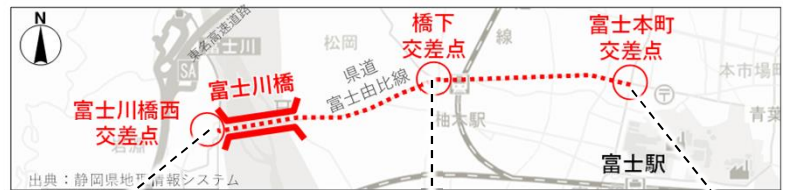
【富士川橋西交差点←富士本町交差点 所要時間 (西向き)】



【平均所要時間 ※2】



【富士川橋西交差点←富士本町交差点 旅行速度 (西向き)】



【凡例】

- : ~20km/h
- : 20~30km/h
- : 30~40km/h
- : 40km/h~
- : 旅行速度が改善した区間・時間帯

富士川かりがね橋の開通効果について

● 救急搬送

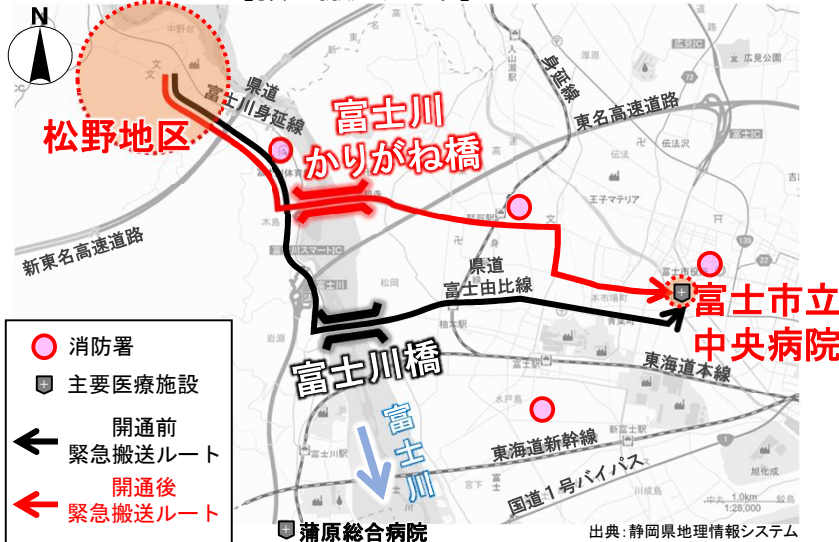
- ・ 富士市立中央病院への搬送速度が、**開通前に比べ、平均速度が約15%上昇**。救急車両のスムーズな通行が可能となり、**搬送患者の負荷が軽減**
- ・ 松野地区など旧富士川町北部からの救急要請に対し、**対岸の消防署からも迅速な対応が可能に**

富士市消防本部のコメント

- ・ 富士川橋は幅員が狭く、渋滞しているとスムーズに緊急通行ができなかったが、富士川かりがね橋を通行することで、緊急通行ができるようになった。
- ・ 橋が開通したことで、松野地区からの救急要請に対し、出発基地の選択肢が増えた。

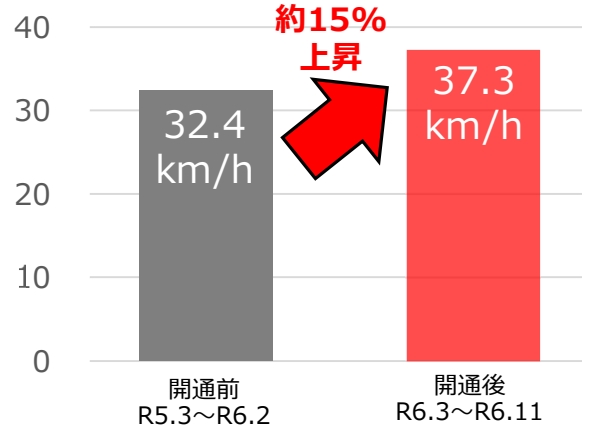


【救急搬送ルート】



【救急搬送速度】※1

(富士市松野地区～富士市立中央病院)



※1：富士市消防本部 出動運行記録に基づく、16時から18時までの平均速度

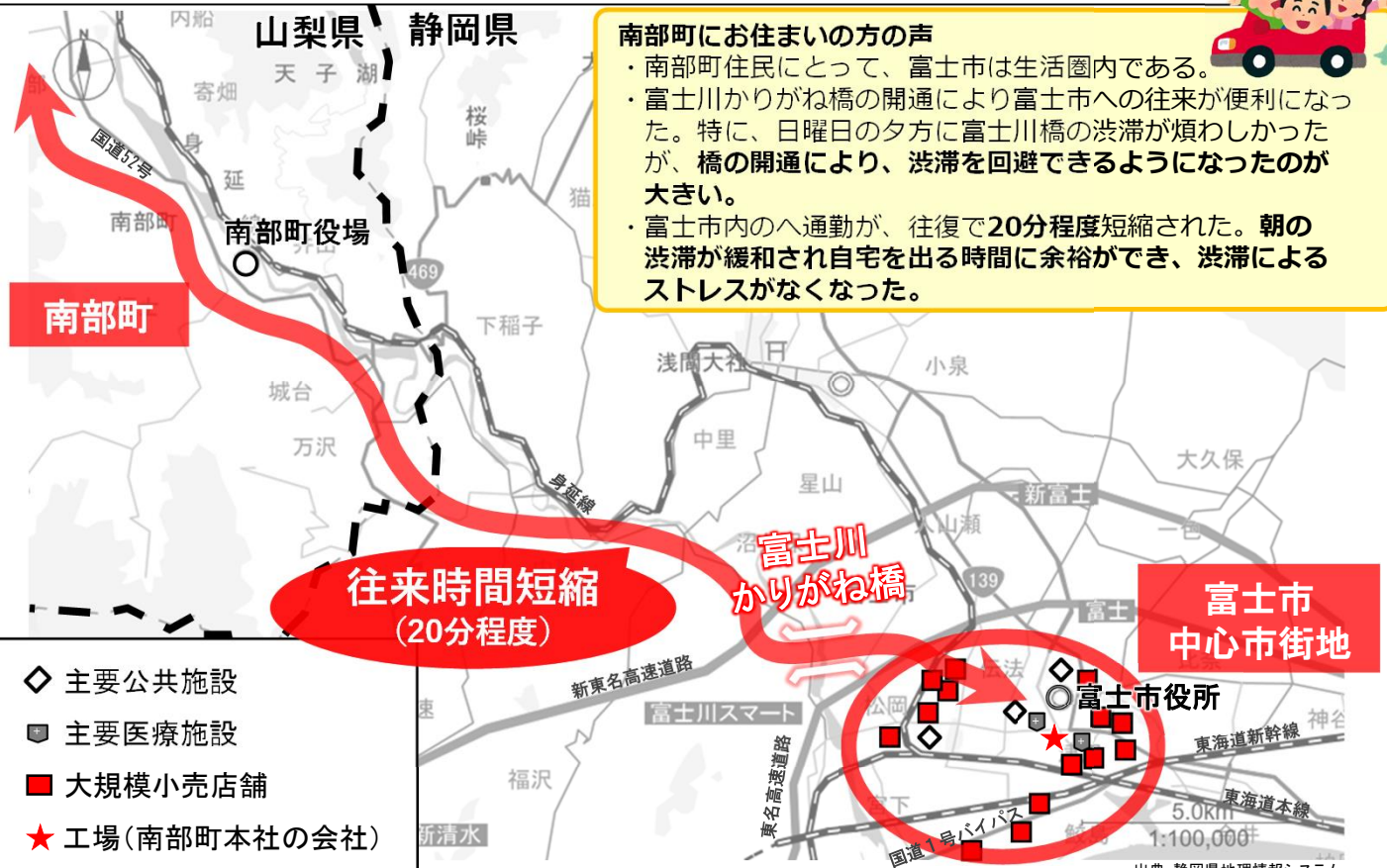
● 県外への波及効果

- ・ 富士市内の商業施設などへの往来が多い**山梨県南部町にお住まいの方の生活の利便性が向上**
- ・ 南部町から富士市内への**通勤の利便性が向上**



南部町にお住まいの方の声

- ・ 南部町住民にとって、富士市は生活圏内である。
- ・ 富士川かりがね橋の開通により富士市への往来が便利になった。特に、日曜日の夕方に富士川橋の渋滞が煩わしかったが、橋の開通により、渋滞を回避できるようになったのが大きい。
- ・ 富士市内への通勤が、往復で**20分程度短縮**された。朝の渋滞が緩和され自宅を出る時間に余裕ができ、渋滞によるストレスがなくなった。



富士川かりがね橋の開通効果について

● 自転車・歩行者の移動環境

- ・ 通行帯を区分し、**歩行者・自転車の安全な通行空間を確保**
- ・ 橋の上で、富士川などの自然を体感できるなど、徒歩や自転車で通行し、楽しむことができる環境を創出

利用者のコメント

- ・ 部活で富士川体育館を利用しているが、富士川かりがね橋を使うことで一直線（最短）で体育館へ向かうことができ、移動時間が10分程度短くなり、移動が楽（便利）になった。
- ・ 富士川橋は、車道部も歩道部も狭く、自転車では怖かった。
- ・ きれいな橋ができて、散歩していて気持ちよい。



【自転車移動ルート之例】

【自転車歩行者道の様子】



【富士川かりがね橋幅員】

